

これまでの経過

- 1 2018年9月、「めぶく。プラットフォーム前橋」を発足。2018年度は、計3回の協議会を開催し、地域の課題を共有するとともに、各々の役割や立場を超えて、本プラットフォームが取り組むべき方向性（≒理念）を明らかにした。【資料2】
- 2 第3回協議会（2019.3.31）では、今後、「理念」から「実行」の段階に移行していくことを確認し、2019年度上半期中に、「持続可能なプラットフォーム体制の検討」及び「部会の試行運営」を予定することとした。【資料3】
- 3 2019年6月の共同事務局打ち合わせでは、それらの実践にあたっては、具体的な取組を念頭に置きながら検討することが必要であるとの認識で一致し、今後の進め方及び各界における事業ニーズ把握を目的とするヒアリングを実施することとした。
- 4 2019年7月 教育界（全6大学）へのヒアリング【資料4・5】

【ヒアリング結果】

- (1) 事業立案のニーズは、以下3点に集約された
 - ① 大学間による同一目的の業務共通化
 - ② 産学官が連携する重要度の高い新たな提案
 - ③ 産学官が議論・交流する場の創出と取組支援
- (2) 事業の実践を通じて、本プラットフォームのあり方を検討する

- 5 2019年11月～ 産業界（協議会参画企業）へのヒアリング

【ヒアリング結果】

多くのことを一度にまとめてやることはできないので、突っ込んだやり取りを経て、真に、何に取り組むのかを絞ること（「選択と集中」）が重要であるとともに、取り組みの「透明性」を高め、「機運を醸成」していくことで支援の輪が広がっていくとの示唆を得た。

<例> ・次世代リーダーや中核人材を育成する「ビジネススクール」
・大学・専門学校と市内企業が連携する「キャリア教育プログラム」
・企業拠出（寄付）等による「奨学金の返済支援」 等

- 6 並行して、市役所において関係部署による協議を実施
- 7 【本日】第4回協議会開催